

駒沢オリンピック公園における民間事業者を活用したレストラン・カフェ導入についての検証

1. 事業の概要

【目的】

- ・民間を活用した飲食店を設置することで、新たな賑わいを創出し、一層の魅力向上を実現
- ・発災時には、店舗を防災施設に転用し、徒歩帰宅者や地域住民を支援するなど、公共貢献に資する

【手法】

- ・レストラン・カフェを設置する民間事業者を公募
- ・災害時対応に精通した公園協会が共同事業者として参画
- ・レストラン・カフェの売上の一部を、都立公園サポーター基金を通して公益還元

2. 検証

i 公園の選定等

- ・公園特性や立地特性が分かりやすい公園を選定したことで、多様な提案を得られた。
- ・事前に事業採算性を十分考慮して公園を選定したことで、レストランの経営はこれまで順調である。
- ・利用状況などを考慮して園内の設置場所を選定したことで、事業に対する反対はなかった。

ii 事業者の選定方法

- ・業態や店舗デザイン、サービス内容などについてプロポーザル方式としたことで、民間の創意工夫が発揮された提案を多数受けることができた。
- ・明示した2箇所から事業者が1箇所を選んで提案する方式については、2箇所にてレストランを設置するとの誤解を生じた。

iii 提案審査

- ・審査基準として、営業時間やメニューが公園利用者へのサービス向上につながるか、建物デザインが景観に調和しているか、などを重視したことで、公園の特性に合った提案を引き出した。
- ・外部有識者を審査委員に登用したことで、専門的な視点や利用者視点で審査できた。

iv 店舗建設

- ・住民への工事説明などにおいて、公園管理に精通した公園協会が事業者のサポートを行うことで、地域の理解を得ながら、円滑に事業を進めることができた。

v 店舗運営

- ・モーニングからディナーまで、多彩な飲食メニューが提供され、多くの利用者で賑わっている。
- ・店舗で行われるイベントも、利用者及び地域住民に好評を博している。事業者からは、より広いスペースを活用してイベントを実施したいとの要望も受けている。

vi 発災時支援

- ・災害時対応のノウハウを有する公園協会が、情報取得支援や備蓄品の提供など、徒歩帰宅者等の支援を担うことで、災害対応力が向上した。
- ・町会から発災時支援の取組について説明を求められるなど、地域住民に好意的に受け入れられている。

vii 公益還元

- ・売上の一部が園内の植栽整備に活用されるなど、公園の魅力向上に寄与している。
- ・都立公園サポーター基金の活用により、今後、他公園の魅力向上も期待できる。

- ◎民間のアイデアによる、利用者ニーズに合ったメニューや多様なイベントなどにより、公園に新たな賑わいが創出された。
- ◎民間のレストラン事業者と、災害時の対応にノウハウを有する公園協会との共同事業のスキームとすることで、地域全体として災害対応力が向上した。
- ◎売上の一部が、都立公園サポーター基金を通して植栽整備など目に見える形で公益還元されるなど、駒沢オリンピック公園をはじめ、都立公園全体の更なる魅力向上が期待できる。

3. 今後の取組に向けて

- ◎公園の個性・特性や利用者ニーズに合わせた事業手法を構築することが重要であり、引き続き、公園の本来機能を維持しつつ、民間の活用に取り組む。
- ◎レストランなど施設単体としての取組ではなく、民間が自由に活用できる範囲を広げるなど、面的な取組を進めることも検討していく。
- ◎公園の魅力のさらなる向上を図るため、民間発案による公益還元の取組も検討していく。